



「今日はうれしいね」

4月6日に行われた弟子屈小学校(佐野哲哉校長)の入学式での1コマです。歓迎の歌でお兄さん、お姉さんが歌ってくれた有名なアニメ映画の主題歌に、思わず笑みがこぼれた新入生。楽しい小学校生活の始まりです。

(関連記事20～21ページ)

Public relations magazine

2016.5

No.741

てしかが

主な内容

- 今月は町税滞納整理強調月間です・・・②
- こんにちは 地域包括支援センターです・・・④
- 身近なことから環境について考えてみませんか・・・⑥
- 第80号町議会だより第1回定例会・・・⑩
- 入園式 入学式・・・②⑩
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設・・・③⑧

むかしむか史 (307)

てしかが歴史写真館 181



久寿里の湖
岸のいて湯やあつからん
水乞鳥の水乞てなく

池の湯に立つ碑

松浦武四郎の見た風景

江戸幕府の命令で蝦夷地を調査して歩いた松浦武四郎は、1858(安政5)年の4月中旬(現在の暦では5月下旬)に、屈斜路を訪れています。

(以下、太字は現代語訳より抜粋)

テシカガ〜ヒラヲロ(美羅尾)〜サウトモマナイ(札友内)〜ヘリウ(美留和)を経て、クツチャロ(屈斜路)に到着。湖水を背景に家が建てられており、実にすばらしい景色だ。

また「昨秋からの不漁で飢え苦しんでいる。老人や子供たちの顔色はとて悪い」とも書き残しています。彼自身も、手配していた食料が届いておらず不安を抱きつつ、翌日は風が穏やかだったので湖上からの調査を進めました。

岸に沿って東に進むと、温泉に着いた。大きな池になっていて、底は大きな岩でその間から温泉が噴き出していた。ここにもニレの皮がたくさん浸してあった。そこに鳥が一羽いたので名を尋ねると、ヲユユケ(アカシヨウビンのこと)といい、この辺りには多くいるようだ。

この記述は、現在の「池の湯」のことです。アイヌはオヒョウニレやシナノキといった樹皮から繊維を取り、さまざまな織物を編み出しました。その際の第一工程として、樹皮を柔らかくするために沼や湿地につけたのです。中でも、温泉はとて貴重がられました。池の湯は、峠を越えた美幌など近隣に住むアイヌからも人気が高かった場所だったそうです。そして、このときに詠んだ歌が碑となって湖畔に建ち、当時の様子を今に伝えています。

てしかが郷土研究会(斎藤)

※写真の歌碑中「水乞鳥」とはアカシヨウビンのこと。

※武四郎が屈斜路湖を見たときと、ほぼ同時期の5月21日(土)、和琴半島をフィールドとした公民館講座が行われます。(32ページ参照)

てしかが 2016.5

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています